



## 令和5年度 事業報告書

### NPO法人JUアカデミー基金

#### 1 事業の成果

令和5年度は「NPO法人JUアカデミー基金令和5年度奨学生」として4名の奨学生が合格し、令和5年4月～令和6年3月までに月に3万円の奨学金を付与した。

令和5年10月15日(日)に、令和5年度文化交流会・総会が三郷市希望の郷交流センターで開催された。当基金の理事、監事、各奨学生、会員、賛助会員、そしてご関心のある方々を含む合計80人が参加した。参加者はポロ、サラダ、冷菜、サンザ、バカリ、チキン・カワープ、サムサなど、ウイグル料理の美味しい味わいを楽しむことができた。また、ウイグルの多彩な伝統文化が豊かな色彩で表現された展示もあり、ウイグル文化を身近に感じることができました。文化交流会后、当基金の理事長より令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算計画が発表されました。

令和5年3月2日(土)に、令和5年度学術交流会・総会が三郷市希望の郷交流センターで開催された。交流会では、令和4年度奨学生による研究発表会、質問応答が行われた。その後の総会では令和6年度事業計画、令和6年度収支予算計画が発表された。最後に、令和5年度奨学生の修了式、令和6年度奨学生歓迎会を開催した。

令和6年3月31日をもって、令和5年度奨学金の付与を終了した。令和6年4月1日から令和7年3月31日まで令和6年度奨学金を付与する。

当法人は奨学金事業以外にも、就職・キャリア支援交流会、留学セミナー開催、情報による就職、キャリア支援などの事業もおこなっている。当法人の事業は、個人の能力開発、教育へのアクセスの平等性、国際的な視野の拡大、そして持続可能な経済および社会的な発展への貢献という面で、SDGsの目標4(質の高い教育をみんなに)と密接に関連しており、令和5年度は、各交流会を通じて在日ウイグル・中央アジアの留学生を支援対象とする就職・キャリア支援を行うと共に、通年にわたり学術サポートやウイグル・中央アジアの学生が日本のような先進国で高等教育を受けるための留学支援セミナー等を行った。

このような活動は、留学生の視野を広げ、日本国内外での進学と就職や学問を更に向上するために海外への留学、国際学術交流などのキャリアにおいては大変役に立つと考えられる。

当事業の実績として、当法人の交流会に積極的に参加し、キャリア支援を受けた留学生が、卒業後にヨーロッパへ留学し、大学院を修了した後、日本に再び戻り、学んだ知識と語学能力を活かし、日本に貢献している。他の留学生数人も当法人の交流会に積極的に参加し、大学院終了後日本で就職し、社会人として活躍している。また、令和6年1月に、中央アジアのカザフスタンのアルマティ市にある高等学校の学生ら約100人を対象に、日本へ留学支援のセミナーを行った。その結果、その中の学生一部が日本へ留学する希望があり、現在留学申請の準備をしている。当法人はこのような留学支援活動を今後も継続的にこなしていく予定である。

当法人の留学生らへの支援活動は、日本で身につけた知識や専門知識が母国の経済発展、社会の向上、持続可能な事業に大きく貢献すると期待している。一方、外国人留学生に対する就職支援、キャリア支援の体制や情報提供がまだ不十分であることが課題となり就職活動やビザの取得などに関する正確な情報が必要であり、今後は政府や大学や国際交流機関などのサポートと連携し、よりよい支援環境を形成し、日本で多文化の共生と交流

ができる素晴らしい環境をも備えていくつもりである。

現実問題点としては、日本とウイグル・中央アジア間には教育や技術力や経済力などに大きな差が存在し、ウイグル・中央アジアの多くの地域が高い貧困率に直面しており、経済発展が遅れている。しかし、ウイグル・中央アジアからの学生を支援対象とした支援活動は非常に少なく、活動団体もほとんどないままである。

当法人の今後の目標は、奨学金事業、学術・文化交流会及び情報交流を通じ、在日ウイグル・中央アジアの留学生に積極的に就学支援、就職支援とキャリア支援を行うと共に、留学生に日本のような先進国で、高等教育を受けるための留学支援を行なっていく。また、日本で応募可能な奨学金情報も定期的に共有すし、サポートを行なっていく。従って、当団体の事業は不可欠であり、継続・発展させる価値がとても高いと考えられる。

## 2 事業の実施に関する事項（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
奨学生募集事業	本国内の大学院、大学、短期大学、専門学校に在籍のウイグル人留学生及び中央アジアからの私費留学生向けに奨学生募集を行う	令和6年1月26日～2月26日	日本国内	8人	ウイグル人留学生及び中央アジアからの私費留学生	募集は人数指定無し 0
奨学金付与事業	本国内の大学院、大学、短期大学、専門学校に在籍のウイグル人留学生及び中央アジアからの私費留学生に対して奨学金を付与する	通年	日本国内	8人	同上	8人 1294
文化交流会開催事業  学術交流会開催事業	日本とウイグル・中央アジアの間の文化交流のかけ橋となり、文化交流を促進することを目的とし活動をする  本国内の大学院、大学、短期大学、専門学校に在籍のウイグル・中央アジア留学生を支援対象とした交流会を行う	令和5年 10月15日	日本国内	14人	当基金奨学生、会員、日ウイグル・中央アジア文化に興味をもつ方々	80人 100

学術交流会開催 事業	日本とウイグル・中央アジアの間の学術交流のかけ橋となり、学術交流を促進することを目的とし活動をする  本国内の大学院、大学、短期大学、専門学校に在籍のウイグル・中央アジア留学を支援対象とした交流会を行う	令和6年 3月2日	日本国内	10人	日本で研究を行っているウイグル人留学生・中央アジアからの留学生及び先生方	24人	80.76
学術交流会開催 事業	日本への留学に興味があるウイグル・中央アジア学生に対し、留学支援セミナーを行う	令和6年1 月	オンライン	10人	ウイグル・中央アジア人学生	約100人	0
学術交流会開催 事業	情報共有により、就職・キャリア支援を行う	通年	ホームページ	8人	ウイグル・中央アジア人留学生	年間約1000人程度	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

令和5年度活動計算書  
( 令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで)

NPO法人JUアカデミー基金  
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	1,709,071	
賛助会員受取会費	394,500	2,103,571
2 受取寄附金		
受取寄附金	223,950	223,950
3 受取助成金等		
受取民間助成金		0
4 事業収益		0
5 その他の収益		
受取利息	11	
雑収益		11
経常収益計 (A)		2,327,532
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当		
臨時雇賃金		
法定福利費		
人件費計	0	
(2) その他の経費		
会議費		
旅費交通費		
奨学金	1,290,000	
奨学金振込手数料	4,300	
会場使用料	18,400	
消耗品費	158,066	
その他経費計	1,470,766	
事業費 計		1,470,766

2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
人件費計	0		
(2) その他の経費			
会議費			
旅費交通費	29,680		
通信運搬費			
水道光熱費			
地代家賃			
雑費	210		
その他の経費計	29,890		
管理費 計		29,890	
経常費用計 (B)			1,500,656
当期経常増減額 (A - B)			826,876
Ⅲ 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計 (C)			0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
経常外費用計 (D)			0
① 当期正味財産増減額 (A - B + C - D)			826,876
② 前期繰越正味財産額			1,243,031
次期繰越正味財産額 (① + ②)			2,069,907

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(特定非営利活動法人の名称)

NPO 法人 JU アカデミー基金

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金 ゆうちょ銀行 148 店	2,069,907		
流動資産合計		2,069,907	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計 (A)			2,069,907
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			0
III 正味財産の部			2,069,907
前期繰越正味財産			1,243,031
当期正味財産増加額 (減少額)			826,876
正味財産合計 (C) = (A) - (B)			2,069,907
負債及び正味財産合計 (B) + (C)			2,069,907

## 財産目録

令和6年3月31日現在

(特定非営利活動法人の名称)  
NPO 法人 JU アカデミー基金

(単位：円)

科 目	数 量	金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
普通預金 ゆうちょ銀行 148 店		2,069,907		
流動資産合計			2,069,907	
2 固定資産		0		
固定資産合計			0	
資産合計 (A)				2,069,907
II 負債の部				
1 流動負債		0		
流動負債合計			0	
2 固定負債		0		
固定負債合計			0	
負債合計 (B)				0
正味財産 (C) = (A) - (B)				2,069,907